

バロック・ヴァイオリンのミューズが贈る
麗しく、歓びに満ちた「四季」

アマンディーヌ・ ベイエ

[バロック・ヴァイオリン] &

アンサンブル・ リ・インコーニティ

Amandine Beyer & Gli Incogniti

©Oscar Vázquez

ヴィヴァルディの

「四季」

オール・ヴィヴァルディ・
プログラム

Antonio Vivaldi (1678-1741)

協奏曲 ハ長調 RV 114
Concerto in C major RV 114

リュート協奏曲 ニ長調 RV 93
Concerto for lute in D major RV 93

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 RV 278
Concerto for violin in E minor RV 278

ヴァイオリン協奏曲集「四季」全曲
“Le Quattro Stagioni” from Concertos a 4 e 5
“Il cimento dell'armonia e dell'invenzione” op. 8

「春」 La Primavera 「夏」 L'Estate
「秋」 L'Autunno 「冬」 L'Inverno



©Herman Sorgeloos

2026. **10/22** 木

7:00PM開演 (6:30PM開場)
A ¥6,000 B ¥5,000 (税込/全席指定)

Early Music Series
音楽の愉しみ

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 / 阪急西宮北口駅南改札口すぐ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売 4/19 日
芸術文化センター チケットオフィス
0798-68-0255 (10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)
インターネット予約 <https://www.gcenter-hyogo.jp>
窓口での販売(残席がある場合)4/21(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始 4/17 金

※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が
変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

麗しく、時にスリリング。 歓びも悲しみも謳歌するアマンディーヌ・ベイエの「四季」

ヨーロッパ古楽シーンの最先端で絶大な人気を誇るバロック・ヴァイオリンの名手、アマンディーヌ・ベイエと、自身が率いる古楽アンサンブル・リ・インコーニティが再び兵庫に降り立ちます。今回、古楽界のスペシャリストが選んだのはオール・ヴィヴァルディ・プログラム。「協奏曲の父」と呼ばれたヴィヴァルディは、様々な楽器のために優れた「協奏曲」を遺しました。プログラム前半では弦楽器、

リュート、ヴァイオリンのための協奏曲を、そしてプログラム最後を飾るのはバロック音楽の至宝《四季》。ベイエの愛情溢れる瑞々しく豊かな感性が、4つの季節を鮮やかに描き、作品の本質をあらゆる角度から照らし出してゆきます。古楽の最先端を走るアマンディーヌ・ベイエ&アンサンブル・リ・インコーニティの演奏を、ぜひお聴きください。



©Oscar Vázquez

メッセージ

親愛なる観客の皆様、親愛なる友人の皆様、
 私たちリ・インコーニティにとって今年は特別な年です。創立20周年を祝う年だからです！
 私たちを形作るものは、若さ(精神の!)、情熱(いつものように!)、そしてエネルギーです。
 決して明るいとは言えない世界情勢に目を背けることなく、アンサンブルは自分たちの最も得意とする分野に焦点を当てることを選びました。それは軽やかさ、気楽さ、エネルギー、幅広い感情、そして豊かな情感を捉え、それらを音楽と深く結びつけて皆様と共有することです。
 私たちの周りで起こっていることを忘れるためではなく、むしろその逆です。社会に根ざし、現実を真正面から受け止めつつ、内に秘めた優しさ、ユーモア、理解の蓄えを胸に抱いて。
 バロック時代の作曲家ゲオルク・ムファットが言うように「幸せに生きる(vivete felici)」。
 ぜひ私たちと一緒に楽しみましょう!

Message

Amandine Beyer
 アマンディーヌ・ベイエ

アマンディーヌ・ベイエ (ヴァイオリン・ソロ、音楽監督)

Amandine Beyer, violin solo & Director

フランス古楽界を代表するバロック・ヴァイオリン奏者。エクス・アン・プロヴァンスでオーレリア・スパダロに師事した後、パリ国立高等音楽院、スイスのバーゼル・スコラ・カントルムに入学。バンキーニのもとで古楽奏法への研鑽を深め、同時にコワン、ホプキンソン・スミスといった巨匠たちに薫陶を受けた。1998年ボンポルティ国際コンクール、2001年トリノ・ヴィヴァルディ・コンクール入賞。2006年リ・インコーニティ、2015年にはキットカット・クワルテットを結成。

バッハ『無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ』CDが数々の賞を受賞。その後、彼女は振付師ケースマイケル(ローザス・カンパニー)に招かれ、「パルティータ第2番」でダンサーとコラボ、アヴィニョン法王庁宮殿の名誉の中庭で5回の公演後、世界中で80回以上もの公演を行った。ダンスとの共演はその後も続き2018年には、「6つのブランテンブルク協奏曲」でパリ・オペラ座、ブリュッセルのモネ劇場、ベルリン、ニューヨーク、リエージュ、リール、ルクセンブルクなどに出演。2023年、ローザス・カンパニーとヒーバーの「ロザリオ・ソナタ」を上演した。

室内楽ではビエール・アンタイ、ベザイデンホウト、シュタイアーともたびたび共演。演奏会での数々の名演をくりひろげながら、AlphaおよびZig-Zag、ハルモニア・ムンティに多くの名録音CDを残している。2010年からバーゼル・スコラ・カントルムで、バロック・ヴァイオリン科教授。

アンサンブル・リ・インコーニティ *Gli Incogniti*

アマンディーヌ・ベイエによって2006年に設立。アンサンブルの名前はヴェネツィアの「Accademia degli incogniti(名もなき者たちのアカデミー)」からとられた。響きの実験、新しいレパートリーの探求、「古典」の再発見など、すべての「知られていない」ものに対する興味を養うことにより、インコーニティの名の精神をさらに取り入れることを試みている。現在、歴史的に裏付けられた解釈において世界トップクラスのアンサンブルの一つに数えられている。

パリ・フィルハーモニー、シャンゼリゼ劇場(フランス)、ウィグモア・ホール(英国)、フィルハーモニー・エッセン(ドイツ)など世界の著名なホールに招かれているほか、国際的なフェスティバルにも多く出演。

これまでに16枚のCDをリリース。ティアパソン・ドール、ショック・ド・クラシカ、グラモフォン・エディターズ・チョイスなど多くの賞を受賞。特にヴィヴァルディの『四季』は数週間、フランスのクラシック音楽CDセールスの首位を飾った。最新ディスクは『Bach from Italy』。2016年以来、10年ぶり3回目の来日。

次世代への音楽の継承に強い関心を持つリ・インコーニティは、フランスのグラティニャンで若い人を対象に室内楽とポティワークのアカデミーを開催している。

メンバー

- アマンディーヌ・ベイエ(ヴァイオリン・ソロ)
Amandine Beyer, solo violin & conductor
- アルバ・ロカ(バロック・ヴァイオリン)
Alba Roca, violin
- 川久保洋子(バロック・ヴァイオリン)
Yoko Kawakubo, violin
- マルタ・パラモ(バロック・ヴィオラ)
Marta Páramo, viola
- マルコ・チェッカート(バロック・チェロ)
Marco Ceccato, cello
- バルドメロ・バルシエーラ(ヴィオローネ)
Baldomero Barciela, violone
- エリアス・コンラッド(アーチリュート)
Elias Conrad, archlute
- アンナ・フォンターナ(ハープシコード/ボジティブオルガン)
Anna Fontana, harpsichord / positive organ



©Herman Sorgeloos



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
 Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
 ホールまで15分
 (阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

